

「4万人都市復活大作戦」テーマ別実施事業

- 戦略1 「あわせあふれるやさしいまち しろいし」
 テーマ：安心して子育てできるまちづくり
 ○赤ちゃん誕生応援事業(妊婦検診助成拡大)
 ○延長保育・休日保育運営事業
 ○福祉の郷推進事業
 (ほっとゆきやっするパス交付など)
 ○福祉灯油券助成事業
- 戦略2 「まんだよう城下町 しろいし」
 テーマ：歴史と文化の香るまちづくり
 ○城下広場整備事業
 ○地域コミュニティ育成支援事業(やる気応援事業)
 ○生涯学習フェスティバル事業
 ○白石城関連事業
- 戦略3 「いきぎとのびゆくまち しろいし」
 テーマ：活気とにぎわいのあるまちづくり
 ○定住促進奨励事業
 ○食育・地産地消実践地域活動支援事業
 ○仙台・宮城デスティネーションキャンペーンプレキャンペーン事業
- 戦略4 「らいたやすらぎのあるまち しろいし」
 テーマ：安全・安心なまちづくり
 ○自主防災組織支援事業
 ○合併処理浄化槽設置助成事業
 ○公共下水道事業
 ○沖の沢郡山線街路事業

市民1人当たりの歳出額は35万2,565円(H18は36万7,494円)

※人口38,849人(平成20年3月31日現在)で算出、県内13市平均は35万4,389円

民生費 7万6,671円 (H18: 7万3,007円)	総務費 7万4,375円 (H18: 8万0,723円)	公債費 4万8,151円 (H18: 6万1,636円)
教育費 3万4,080円 (H18: 3万4,011円)	土木費 3万3,974円 (H18: 3万8,298円)	衛生費 3万3,125円 (H18: 3万2,858円)
商工費 1万2,999円 (H18: 1万4,983円)	農林水産業費 1万1,947円 (H18: 1万1,423円)	その他 2万7,243円 (H18: 2万0,555円)

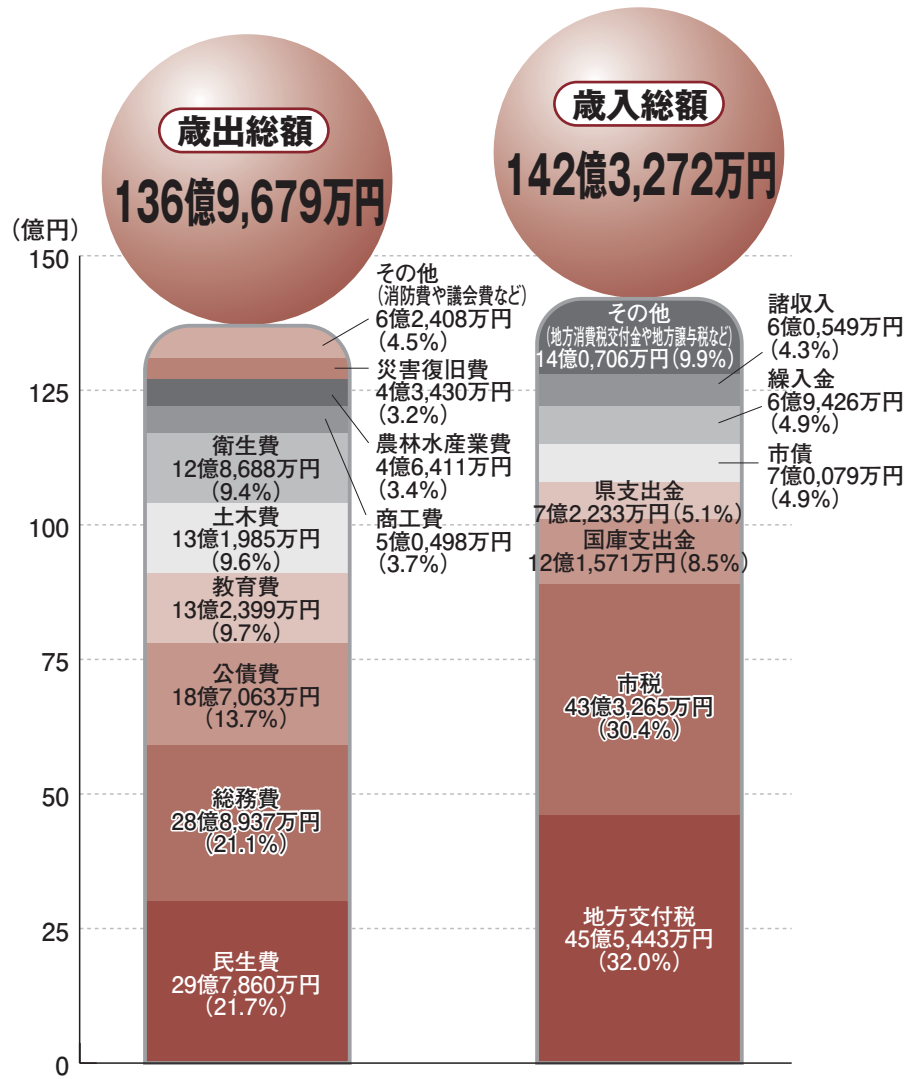
高齢者・障害者福祉対策や医療福祉費、保育園運営事業など
 庁舎や財産の維持管理、税金の賦課、戸籍管理など
 市債(借入金)の返済
 各小中学校や公民館・図書館の運営など
 市道の整備・維持や公営住宅管理など
 各種検診事業や予防接種、環境保全など
 商工業振興や観光活性化事業など
 農業の振興を図るための支援や生産基盤整備など
 議会費、消防費や災害復旧費など

平成19年度決算～くらし日本一のまちづくり～
「4万人都市復活大作戦」を実施

「白石市の家計簿」ともいえる平成19年度の各会計決算がまとまり、9月市議会定例会で認定されました。本市では、「4万人都市復活大作戦」を掲げ、「くらし日本一のまちづくり」を実現するため、さまざまな事業を行ってきました。今月号では、19年度決算のあらましをお知らせします。なお、詳細は本市のホームページでもご覧いただけます。
 ●ホームページURL <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/zaisei/kessan/index.html>

問 財政課 ☎22-1332

一般会計の歳入・歳出決算



歳入における市税の内訳

市民税	17億4,627万円
固定資産税	21億3,048万円
市たばこ税	2億1,798万円
都市計画税	1億5,231万円★
その他	8,561万円

★都市計画税の使い道
 都市計画事業を行う経費の一部に使われます。19年度の事業費は次の通りです。

【都市計画事業】	
公園費	5,506万円
下水道費	3億4,256万円
街路事業費	5億4,585万円
駐車場管理費	982万円

◎市民1人当たりの市税負担額は**11万1,525円**(H18は9万9,625円)
 県内13市平均は11万5,928円

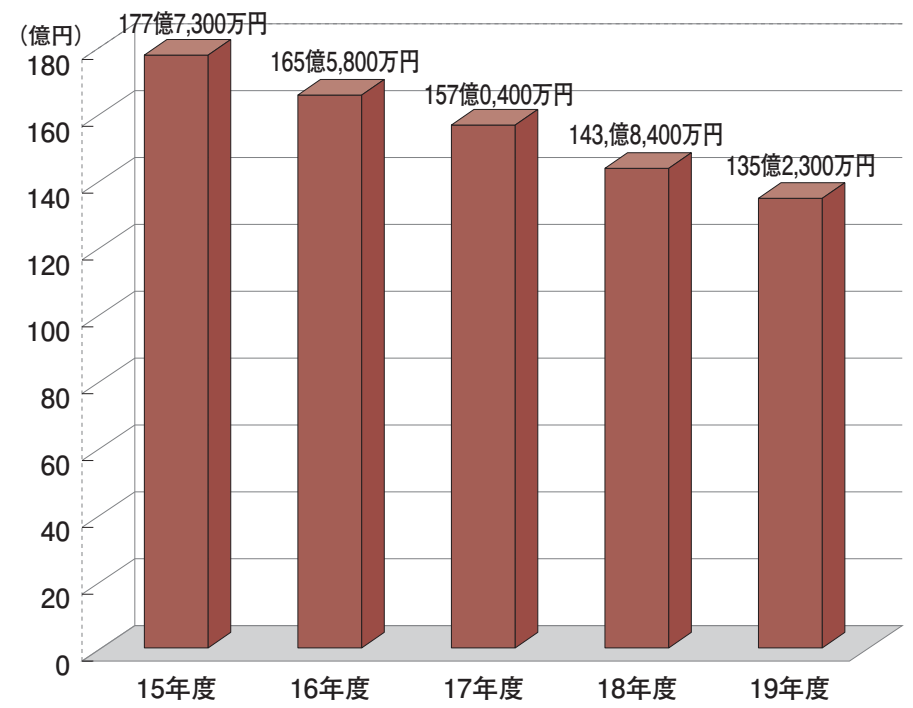
◎市民税 **4万4,950円**(H18 3万3,662円)

◎固定資産税 **5万4,840円**(H18 5万4,201円)

※人口38,849人(平成20年3月31日現在)で算出

特別会計決算			公営企業会計決算		水道事業会計決算		下水道事業会計決算	
特別会計名	歳入	歳出	収支名称	収入	支出	収入	支出	
国民健康保険	42億4,158万円	41億3,434万円	収益的収支(営業活動にかかる収支)	9億1,065万円	9億3,485万円	7億7,953万円	8億6,562万円	
老人保健	44億9,307万円	44億2,185万円	資本的収支(施設の建設や改良にかかる収支)	2億3,115万円	4億2,720万円	12億6,092万円	15億4,883万円	
介護保険	24億4,379万円	23億4,670万円						
地方卸売市場事業	811万円	229万円						

●市債(借入金)残高の推移



市債(借入金)のあらまし
 19年度末の市債残高は一般会計で135億2,300万円と前年度末より約8億6,000万円(6.0%)も減りました。19年度も地方交付税の市債振り替えをはじめ、街路事業や防災対策などのために7億円ほどお金を借りましたが、その返済金の約7割を国が地方交付税という形で支

払いを約束しています。市債は、主に道路の整備費用や施設の建設費用など、長期間にわたって利用される公共事業に充てられます。市債を発行すると、年度間の財政負担を均等にできますし、世代間の負担を公平にすることができま

平成19年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入が142億3,272万円、歳出が136億9,679万円、差し引きは5億3,593万円となりまし

●歳入 市民の皆さんや事業所に納めていただいている市税は、税源移譲などの影響で前年度より10.8%(4億2,097万円)増えて43億3,265万円(30.4%)増え、一番大きい割合を占めている地方交付税は9.6%(4億8,229万円)、地方譲与税は5.2%(2億9,335万円)と大幅に減少しました。

●歳出 歳出に占める割合が大きいの民生費、総務費の順となっています。民生費は、児童手当や生活保護費などの扶助費の増加により、3.5%(1億1,207万円)前年度に比べ増加しました。逆に、公債費22.7%(5億4,946万円)や総務費8.8%(2億8,012万円)などは減少しました。